

一 般 質 問 要 綱

平成 23 年第 7 回 9 月 定 例 会

通告順	議席番号	質 問 者	質 問 事 項	質 問 要 旨
1	9	渡 部 信 夫	1 指定ゴミ袋について	(1) 市指定ゴミ袋の実態について ア 価格、販売店手数料の決定方法について伺います。 イ 費用負担について伺います。 ウ 区分ごとの価格差について伺います。 (2) 広域管内の差異について ア 排出方法の違いについて伺います。 イ サイズ、価格の違いについて伺います。 (3) ゴミ減量化とCO ₂ 削減について 指定ゴミ袋の代替案について伺います。
			2 災害関連対策における歳入歳出の根拠について	(1) 被災自治体への寄附行為について ア 歳出科目の根拠を伺います。 イ 寄附の相手先を限定したこと及び金額の根拠を伺います。 ウ 地方自治法第 232 条の 2 中、「公益上必要がある場合」と判断した根拠を伺います。 (2) 罹災、被災証明書の交付事務について ア 災害発生後、一貫して手数料を徴収してきた根拠を伺います。 イ 無料にした根拠を伺います。 ウ 徴収した手数料を還付すべきではないか伺います。 エ 一連の対応を市民に釈明すべきではないか伺います。
			3 米の収穫期における原発事故関連対策について	(1) 米の放射性物質調査について ア 早場米検査及び予備調査の結果を伺います。 イ 本調査の概要を示し、出荷開始の判断はいつになるか伺います。 (2) 調査後の対応について ア 万一の場合の対策について伺います。 イ 価格下落対策について伺います。 ウ 風評被害による販売不振時の対策について伺います。
2	8	江 花 圭 司	1 東日本大震災以降の喜多方市としてビジョンの考え方や方向性について	「夢と希望をもって震災後の喜多方における問題・課題を解決していかなければならない。」という市民からの「夢」ビジョンを描いてほしいという点から質問させていただきます。 (1) 震災後半年が経つが、市として課題に立ち向かっていくためのビジョンはあるか

通告順	議席番号	質 問 者	質 問 事 項	質 問 要 旨
				<p>お伺いします。</p> <p>(2) 市長として市民に夢と希望を与えられるビジョンはありますかお伺いします。</p> <p>(3) 今までの様々なビジョン「喜多方市農林業ビジョン、喜多方市地域新エネルギービジョン」など震災後、各ビジョンで優先的に行われていく事業があるかお伺いします。</p> <p>(4) 今までの様々な宣言「グリーン・ツーリズムのまち、太極拳のまち、スポーツ交流都市」などの宣言がなされていますが、震災後の各宣言における具体的な振興策があるかお伺いします。</p>
			2 観光だけではないすべての人たちに対しての交流産業創出について	<p>既存観光産業の風評による打撃から、今年の冬を乗り切ることが大変だという悲痛な声を耳にしています。人が交流するということは、感動を求めてくる、喜多方に来られた方々は「忘れかけているニッポン」を見つけたと感動される方々が多く、これからも喜多方においては「感動を与えられるまち」であってほしいという点から質問させていただきます。</p> <p>(1) 観光・交流には、今後「多様化＝ダイバシティ」といった新たな考え方が必要になると思うが喜多方は地の利を活かした多様化をどのようにお考えですか。</p> <p>(2) 具体的に交流産業を雇用に結び付けていく施策などはあるのかお伺いします。</p>
			3 喜多方市における危機管理に関して	<p>震災や放射線問題により新しく喜多方に住まわれる方が増えている現状で、安心できる子育て、教育、医療、介護や福祉に関しての環境構築の面で質問させていただきます。</p> <p>(1) 各分野ごとの危機管理対策マニュアル策定のお考えはあるかお伺いいたします。</p> <p>(2) 最近、専決処分にはげられる、市所有の車両による事故が多くなっており、未然に重大事故と貴重な税金の流失を防がなければいけません。市当局として内部への危機管理はどのように行っているかお伺いいたします。</p>
			4 市役所新本庁舎建設について	<p>(1) 答申者がプロポーザル審査委員を務めることが認められるのか。</p> <p>喜多方市新庁舎建設市民懇話会で答申した方が、この度の喜多方市新本庁舎建設設計業務プロポーザル審査委員に選定さ</p>

通告順	議席番号	質 問 者	質 問 事 項	質 問 要 旨
				<p>れたが通常ですとおかしいかと思いますが、どのようにお考えですか。</p> <p>(2) タイトなスケジューリングで市民に望まれる新庁舎ができるか。</p> <p>この度の合併特例債の 5 年延長が決まり、これまでも市民説明会を 6 会場で開催し厚生会館 2 名、喜多方プラザ 4 名、熱塩加納会館 17 名、塩川ふるさと会館 9 名、山都開発センター 13 名、高郷支所 24 名のべ 69 名が説明会に参加されたということで、市当局として 69 名の参加は満足いく参加者数だったのか。もう少し期間を延ばして市民の声を反映させることはできないのかお聞かせいただきたい。</p>
3	7	渡部 一 樹	<p>1 市総合計画について</p> <p>2 放射能汚染対策について</p>	<p>(1) 基本計画の見直しにあたっての考え方を伺いたい。</p> <p>(2) 計画策定から 5 年間の総括をいつまでにまとめるのか。また、公表する考えはあるか伺いたい。</p> <p>(3) これまで産業・観光振興の分野においては、どちらかと言えば南北のルートを重視してきたようにみえるが、これからは東西のルート、特に新潟との取引きや結びつきを強化すべきと考えるが、当局の見解を伺いたい。</p> <p>(1) 市が原発事故における放射能汚染の影響について「安全」という判断に至った経緯と基準について伺いたい。</p> <p>(2) いわゆる「ホットスポット」といわれる箇所での測定とその結果を公表する考えはあるか伺いたい。</p> <p>(3) 下水道汚泥の処理について伺いたい。</p>
4	2 3	佐原 正 秀	1 防災力を高める対応について	<p>(1) 自助・共助力の育成強化をどう進めるか。</p> <p>(2) 災害弱者支援の対応は</p> <p>(3) 耐震化を前倒しして想定外に備えた安心・安全の追求は</p> <p>(4) 住民の安全はもちろん、企業誘致にもつなげる災害の備えは</p> <p>(5) 地域防災計画の見直しと対策は</p> <p>(6) 危機管理能力は十分であるか。</p> <p>(7) 地域防災のリーダー養成のための教育、実習は</p> <p>(8) 組織体制・連携の充実は</p> <p>(9) 避難所マニュアル作成の取り組みは</p>

通告順	議席番号	質 問 者	質 問 事 項	質 問 要 旨
			2 子どもの視点から見た子育て支援について	(1) 冒険心をはぐくむ施設作りは (2) 行革で節減した財源を子育て支援へ (3) 子ども遊び場の整備は
			3 ネット上の仮想都市空間「セカンドライフ」を活用しての企業誘致活動について	(1) インターネット 3D 仮想空間「セカンドライフ」を活用した企業誘致の取り組みは (2) 本市の企業誘致に対する今後の産学官連携方針は
			4 低公害車の導入について	(1) 市が所有する車のうち低公害車の台数と割合は (2) 燃料使用量の削減計画と今後の方向性は (3) 電気自動車等の導入に対する市の取り組みは
5	1 1	大川原謙一	1 風評被害対策について	(1) J A と連携して本市独自の農畜産物の検査体制をつくるべきと思うが、いかがか伺う。 (2) グリーン・ツーリズムサポートセンターの今の現状と今後の対策について伺う。 (3) 観光客の減少で本市は観光に係わる方が大変苦しんでいるが、その方達に対する支援について伺う。
			2 きたかた喜楽里博について	(1) きたかた喜楽里博の今年の総括はどうだったのか伺う。 (2) 震災や原発事故さらには今年の総括を含め、今年の取り組みと違うところはどこか伺う。
6	1 2	長澤勝幸	1 入札制度改革について	(1) 工事検査・契約室の役割について (2) 検査結果の反映について
			2 旧県立喜多方商業高等学校跡地の利活用について	(1) 世代間交流施設の事例について (2) グランド、テニスコートなどの先行活用について
7	1 6	佐藤一栄	1 喜多方市カイギュウランドたかさとについて	(1) 平成 22 年 7 月開館後、市内又は市外からの入館状況はどのようになっているのか伺う。 (2) カイギュウランドたかさとの P R について伺う。 (3) カイギュウランドたかさとの管理(整備も含む) と今後の管理運営について伺う。
			2 喜多方市ふれあい通り商店街整備事業について	(1) 喜多方市ふれあい通り商店街の石器プランターの設置について伺う。 (2) 花でもてなす観光事業の今後の指導について伺う。
			3 第 42 回喜多方市民水泳大会について	(1) 今年度は喜多方市小学校水泳大会を中止し、市民水泳大会に参加をして頂くと説

通告順	議席番号	質 問 者	質 問 事 項	質 問 要 旨
				<p>明を受けた。喜多方市民水泳大会への各小・中学校毎の参加状況について伺う。</p> <p>(2) 喜多方市民水泳大会の参加に対する市内各小・中学校の取組姿勢、又、指導について伺う。</p>
8	4	田 部 輝 雄	1 企業誘致の取り組みについて	<p>(1) 市は、東日本大震災で被災された企業の操業開始を支援するため、空き工場を活用してもらい取り組みが進められており、これまで2社が決まりました。いずれも助成金という形で支援していきませんが、期間はわずか3年間です。地元採用は、2社合わせても8名の予算措置がこの間の臨時議会で可決されました。募集はまだ先になりますが、少ない人数でもこの支援制度により雇用が創出される事は評価されると思います。</p> <p>そこで伺います。</p> <p>ア 3年間という期間の中で、企業から支援内容の変更の申し出があった場合、どのように対応をされますか。</p> <p>イ 今回の支援事業における今後の企業立地活動については、どのような取り組みを検討されていますか。</p> <p>(2) 市は、今後の企業誘致活動に向けての考え方として、新規の企業誘致は望めないとしています。そのために工業団地の造成は行わないとして、市の遊休地等を活用していく考えがこの間の私の質問に対し答弁されています。</p> <p>しかし、8月19日の全員協議会において説明された「都市マスタープラン」では、既存の工業団地を整備して就業機会の確保を図ろうとしています。整合性が全くとられていないと考えるし、各部ごとに基本構想がバラバラであると指摘せざるを得ません。</p> <p>そこで伺います。</p> <p>ア これからの企業誘致活動において、既存工業用地の整備を進めるのか、それともあくまで市の遊休地を活用していくのか改めて伺います。</p> <p>イ 今まで、トップセールスや企業訪問更には県東京事務所等との情報交換を通して、企業誘致に取り組んできました。しかし、未だにその効果は現れていませ</p>

通告順	議席番号	質 問 者	質 問 事 項	質 問 要 旨
				<p>ん。</p> <p>そこで伺います。</p> <p>市内の企業で、被災された地域も含め市外の企業に二次加工・三次加工を委託している企業の実態は把握されていますか。</p> <p>ウ 会津喜多方中核工業団地造成事業については、既に地権者との協議も終わり現在その善後策である工事あるいは修繕等が進められています。井戸の修繕については稲刈り後に実施されると思います。この問題についての質問ではありませんが、この事業を推進してくる過程において、いくつかの企業において立地の検討を頂いてきましたが、断念してからの関わりはどうなっていますか。</p>
			2 雇用対策について	<p>市内における雇用状況は相変わらず厳しく、有効求人倍率も 6 月の 0.36 倍、7 月の 0.38 倍と低くなっています。大震災の影響で自宅待機や雇い止めにされた方もおられます。</p> <p>しかし、市内の企業においては需要が拡大し生産が追いつかないという企業も出ています。求人数も求職者数も増加しているのに、なぜ有効求人倍率がこんなに低いのか。実態を調査すれば、それぞれ各企業の事情が見えてくる訳です。もっとも大きな理由は有資格者・経験が必要とされているのです。</p> <p>そこで伺います。</p> <p>(1) 市内企業へのトップセールスや企業訪問において、企業側から行政に対して要望や要請などはありませんでしたか。</p> <p>(2) 市の臨時職員に関連して伺います。</p> <p>臨時職員の雇用については、「臨時職員雇用等管理規程」により最長 3 年となっています。そのため、以前から申し上げているように 3 年経過した方は、二度と市の臨時職員として採用される事はありません。いくら有資格者であっても、優秀な人材であってもです。今後、市内における就労人口の増加を図るためにはいずれこの規程を見直しすべきと考えますが、市の考えを伺います。</p> <p>(3) 大震災や新潟・福島豪雨災害に対する人的支援について伺います。</p>

通告順	議席番号	質 問 者	質 問 事 項	質 問 要 旨
				<p>大震災から半年が過ぎようとしています。被災地では少しずつ復興へ向けて努力されているようですが、県の災害対策本部によると「今後、人的支援が大きな力になる。」として、各地へ要請していきたい考えのようですが、本市にはどのような情報が来ているか伺います。</p> <p>(4) 雇用相談センターの現状について伺います。</p>
			3 震災後の市の対応について	<p>3.11 の東日本大震災、原発事故による放射能汚染に対する市の取り組みとしては、被災者の受入れと風評被害に対する取り組みが主でありました。しかし、日を追うごとに放射能への不安が増大し、特に子供たちへの影響が心配されてきました。そんな折、今度は稲わらから放射性セシウムが検出され、そして学校のプールからも微量ながら検出されました。</p> <p>この間、市としては環境放射能測定や被災者への支援活動、被災企業への支援等、市独自でできる範囲で対応してきましたが、市民からは多くの声が寄せられている事も事実であり、今後の対応へ十分生かして頂きたいと思います。</p> <p>そこで伺います。</p> <p>(1) 塩川町の小学校プールから微量ながらも放射性セシウムが検出されました。全面的に洗浄し再使用していましたが、再度同じプールから検出されました。その原因と対策は検討されたのですか。</p> <p>(2) 稲わらから放射性セシウムが検出されて以降、市内各畜産農家に対しどのような対応をされたのですか。そして現在、どのような経過になっていますか。</p> <p>(3) 喜多方市の水は安全と言われていますが、地下水を飲み水にしている地域の水の環境放射能測定はされたのですか。個人で対応するようにとの考えなのですか。ならば、その採取方法や測定依頼等の手続きを指導すべきではないのですか。</p> <p>(4) しいたけや原木なめこを栽培している農家、生産者に対しては、どのような指導をしてきましたか。併せて、アスパラやトマト生産農家に対しても伺います。</p> <p>(5) 本市は、合併して広大な面積を有し、そ</p>

通告順	議席番号	質 問 者	質 問 事 項	質 問 要 旨
				<p>の 70%が森林であります。森林の放射能汚染調査はどう対応していくのですか。</p> <p>(6) 風評被害への対応として、現在取り組んでいる内容は何か。</p>
9	18	物 江 和 一	<p>1 新潟、福島豪雨災害と危機管理体制について</p> <p>2 大規模太陽光発電所（メガソーラー）の誘致について</p>	<p>7月24日より8月1日にわたっての集中豪雨により本市には甚大な被害が発生した。特に只見川流域の山都町、高郷町の被害は深刻な事態となった。これが被害の実態と今後の復旧工程を示していただきたい。また、災害発生時の当局の対応は概ね良と評価するが、今後の災害対応に資するため、危機管理体制強化の考えを問う。</p> <p>(1) 災害の内容と被害金額（市及び県所有管理も含めて）</p> <p>(2) 復旧工程は（市及び県所有管理も含めて）</p> <p>(3) 激甚災害に指定されたが、復旧に関する全体の予算措置は</p> <p>(4) 機敏な判断、行動が必要なので一定の権限を有する現地対策本部の設置を</p> <p>(5) 危機管理マニュアルはあると思うが、緊急事態発生時に機能すべく全職員に周知徹底、意識高揚及び実践訓練はされているか。</p> <p>(6) 支所に地元出身職員が少なく、地理の不案内による迅速適確な行動が、やや遅延ぎみであった。今後の人事異動と職員教育の考え方は</p> <p>(7) ある程度の見積り、設計ができる技術職員の育成強化は</p> <p>(8) 各部、各課の横断的な危機管理体制はこれで十分か。（職員の応援体制等）</p> <p>(9) 情報収集や分析を行い、戦略的な対応策を立案し、瞬時に行動に移すため専管組織の設置が必要と思われるが、いかがか。</p> <p>(10) 警察、消防、国県等の関係機関との連携は十分であったと思われるか。反省事項があるとすれば、何か。</p> <p>政府は原発依存から脱却し、再生可能エネルギーへ転換すべく政策を進めている。ソフトバンクの孫社長が提唱して「自然エネルギー協議会」が全国の7割にあたる35県知事が参加して発足された。再生エネルギー買取法案も制定され、新たな時代を迎えた。諸条件が揃う本市に大規模太陽光発電所（メガソ</p>

通告順	議席番号	質 問 者	質 問 事 項	質 問 要 旨
				<p>ーラー) の誘致を図るべきと考える。全国で 10 ヶ所、総事業費 800 億円の夢のプランである。千載一遇のチャンスととらえ、次の利点を考慮し、実現すべく積極的な運動を展開する所存は、ありや、否や伺う。</p> <p>(1) 環境に優しく、誘致を阻害する悪条件は少なく、住民感情は良好と思われる。</p> <p>(2) 熱塩加納町の赤崎林、旧喜多方市の熊倉、雄国、塩川町の駒形等日当たり良好で広大な土地がある。</p> <p>(3) 山都町、高郷町にも適地は多くあり、既存の水力発電所に近いことから送電コストが安価であり、極めて有利と思われる。</p> <p>(4) 大規模太陽光発電所と同時にその製品製造工場も誘致できれば、雇用の拡大に繋がり、市内経済は飛躍的に伸展が望まれる。</p> <p>(5) 新たな観光資源となり、「蔵とラーメンと太陽光のまち」として観光客の増大が期待できる。</p>
10	14	遠藤金美	1 東京電力福島第一原発事故について	<p>(1) 8月5日に国の中間指針が発表されたが、本市の損害賠償の取りまとめ状況と今後の事務作業や支払いの進め方と見通しを伺う。</p> <p>(2) 原発事故損害賠償請求に関して相談窓口では、どのようなことが問題点になり、どのように対応しているのか。</p> <p>(3) 風評被害払拭のために、これまでも安全PR活動を実施してきたが、今後、新たな対策をどう講じていく考えであるか。</p>
			2 活力ある生活・観光都市づくりについて	<p>(1) 市では、今春からの本市の厳しい情勢に対して、きたかた大使には、現状認識と活性化・振興に向けて、どのような働きかけを行っているのか。また、どのような提言を受けているのか。</p> <p>(2) 本市をピー・アールするため、マスメディアを通して全国に情報発信を行うべきと考えるが、市の考えを伺いたい。</p> <p>(3) 友好都市づくりに向けて、東大和市との協議や今後の交流計画はどのように進められているのか。</p>
			3 喜多方市高齢者福祉計画、第5期喜多方市介護保険事業計画について	<p>(1) 団塊の世代が65歳を迎える超高齢化社会に入っているが、3年ごとの見直しによる計画策定にあたり、これまでの総括と課題や問題点をどのようにとらえているの</p>

通告順	議席番号	質 問 者	質 問 事 項	質 問 要 旨
				か。 (2) 第 5 期計画を策定するにあたり、策定スケジュール及び、その組織体制や各種調査をどのように進める考えなのか。また、特色としてどのようなことをあげられるのか。
1 1	2 0	齋藤勘一郎	1 畜産振興について	(1) 肥育農家対策について (2) 繁殖農家対策について
			2 会津豪雨災害について	(1) 激甚災害指定について (2) ダム放流の検証について
			3 放射性物質の調査、対策について	市内保育所・幼稚園・小学校・中学校の敷地内側溝等の汚泥の調査、対策について
1 2	5	小林時夫	1 防災対策について	(1) 被災者支援システム導入について (2) 災害発生時の初動体制について (3) 防災対策助成制度について (4) 火災予防対策（住宅用火災警報器設置）について
			2 今後の公共工事について	(1) 工事検査室の体制について (2) 工事成績評定制度の導入について (3) 工事予定価格について
			3 喜多方市美術館について	(1) 指定管理者として運営してきた評価について (2) 障がい者などの観覧料免除について (3) 駐車場の管理について
1 3	6	後藤誠司	1 新潟・福島豪雨災害について	7 月末に発生しました新潟・福島豪雨は、本市の高郷町、山都町を中心に甚大なる被害をもたらしました。 今回の豪雨災害について次の点を質問致します。 (1) 激甚災害の指定となるようで大変喜ばしいことですが、被災者は一日も早い復旧を願っていると思いますが、今後の復旧の日程はどのようになるのか伺います。 (2) 豪雨災害等では 1 ヶ所の災害が基準価格の 40 万円以上でないと災害復旧とはならないわけですが、土砂崩れ等で耕地、山林、水路、名義のちがう耕地等があった場合、それぞれが基準価格以上にならないと復旧に該当せず、困っている被災者もおられるわけで、弾力的運用ができないのか伺います。 又、4～5 年前と比較して、復旧工事の見積り額が安くなっているように感じるが、いかがですか。 (3) 8 月 23 日に中山間地域等直接支払制度

通告順	議席番号	質 問 者	質 問 事 項	質 問 要 旨
				<p>変更に係る説明会があったが、協定農用地等の被害は集落協定でも負担せよということかどうか伺います。</p> <p>(4) 河川の護岸等もそこを越えて被災したわけですが、河川の護岸復旧工事はいかになるのか伺います。</p>
			2 米の放射性物質調査について	<p>本市でも県による米の放射性物質調査を補完する形で実施するわけですが、次の点について質問致します。</p> <p>(1) 県の予備調査は昭和の大合併前の旧市町村ごとに調査するわけですが、他の地区の田圃も耕作している人は、粃や玄米等を区別しなければならないのか伺います。</p> <p>(2) 早期出荷米は「五百川」を検査するようだが、他の早生種は行わないのですか。</p> <p>(3) 暫定規制値の 500 ベクレル/kgにならないまでも、万が一、ある程度の数値が出て、風評被害により米価が下落するような事態になれば、当然、東電に損害賠償を求めべきと思うがいかがですか。</p>
1 4	2 4	伊 藤 弘 明	1 合併特例債の新たな活用について	合併特例債延長法の成立により本市の今後の対応について
			2 街路事業の進め方について	坂井・四ツ谷線における工区の優先順位について
			3 都市マスタープランについて	今後の都市計画の進め方について
1 5	1	矢 吹 哲 哉	1 平成 23 年 7 月新潟・福島豪雨災害等について	<p>(1) 只見川水系の発電所の一斉放流が、被害を大きくしたのでは、との声が現地の人から聞かれている。市の防災計画には、この点は考慮されていたのか。また、今後、この点での見直しが必要と考えるが、伺う。</p> <p>(2) 集中豪雨の際、毎回のように道路側溝等から雨水が溢れ出す箇所について、実態の把握とその対策の状況を伺う。</p>
			2 福島県復興ビジョン・復興計画に基づく本市の対応と合併特例債事業の見直しについて	<p>(1) 市は、今後、県のビジョン・計画に基づく取り組みを、どのように進めていくのか、伺う。</p> <p>(2) 県の復興計画は、10 年計画で取り組むとなっているが、文字どおり最優先で取り組む課題であると考えている。また、合併特例債事業については、5 年間延長することが国会で決まる方向である。したがって、市の合併特例債事業については、全面的に見直すべきと考えるが、伺う。</p>
			3 介護保険事業につ	(1) 第 4 次介護保険事業計画は本年度、最終

通告順	議席番号	質 問 者	質 問 事 項	質 問 要 旨
			いて	年度であるが、その達成状況を伺う。 (2) とりわけ、改善を求められている特別養護老人ホームの待機者の解消対策について伺う。待機者の現状とその対策は
			4 国民健康保険について	財政状況がきびしく、来年度は保険税の値上げが必至との声が市の担当者から聞かれるが、市長は、この問題をどのように解決しようと考えて対策を指示しているのか、伺う。
			5 市行財政改革と定員適正化計画について	民間委託、職員削減を最優先で進めているようにしかみえない。今回の大震災の教訓のひとつに、公務員と公務労働の役割があげられる。きめ細かな行政サービスと人員を配置していた自治体は被害が少ない。 市長はこの教訓を喜多方市の教訓として、現在の行財政改革と定員適正化計画を見直すべきと考えるが、伺う。
16	3	坂内鉄次	1 市農業委員会委員の定数削減について	(1) なぜ今、定数削減か。 (2) 23年4月19日付の農業委員会による「喜多方市農業委員会委員の定数等の見直しにおける提言書」を市長は尊重すべきではなかったか。 (3) 23年6月27日付の「喜多方市農業委員会委員の定数等の見直しにおける提言書」への市長回答は、暗に定数削減を示唆しているが、何を根拠としたのか。農業団体・農業者あるいは識見に富む市民の方々の意見は把握されたのか。 (4) 今課題としての女性委員等の選出について伺う。
			2 市美術館、蔵の里及び民俗資料館などの運営について	(1) 入り込み数も含めて現状と課題について伺う。 (2) 「喜多方蔵の里等展示替え検討委員会報告書」は活かされているのか。 (3) 今後について伺う。
			3 保育行政について	(1) 乳幼児保育に係る市内保育所・幼稚園等の現状と国における検討状況について伺う。 (2) 今後の幼保一体化に向けたスケジュールについて伺う。 (3) 市立保育所の環境改善と人員確保について伺う。
17	10	富田幸雄	1 危機管理について	(1) 自治体の「危機」とは何か。 (2) 本市の組織内の「危機の芽」とはどのようなものがあげられるか。

通告順	議席番号	質 問 者	質 問 事 項	質 問 要 旨
				<p>(3) 民間企業と市との「危機」の違いは何か。</p> <p>(4) 平常時の「危機管理」、「緊急時の危機管理」、「収束時の危機管理」はどのようになっているか。</p> <p>(5) 市立第一中学校耐震補強工事費の不足について説明、責任を開示し、市民にどう理解を求めるか。</p>
			2 エネルギー問題について	<p>(1) 「喜多方市地域新エネルギービジョン」策定、実施から現在までの事業推進はどのようになっているか。また、重点的に進めるべきエネルギーは何か。</p> <p>(2) 市役所における震災後の節電計画と経過を示せ。</p> <p>(3) 太陽光発電における市の実態と今後の対応を示せ。</p> <p>(4) 原子力発電に対する市長の考え方を伺う。(短期・中期・長期)</p>
1 8	2 5	五十嵐吉也	1 行政・市民が一体となった観光復興について	<p>東京電力福島第一原発事故による風評被害で観光客が激減し、県内の観光地は深刻な打撃を受けています。</p> <p>観光シーズンを迎えている今日、行政・市民が一体となって喜多方市の良さと安全性をアピールして観光復興につなげていきたいと考えられますが、市民と如何に取り組みされるかお伺いします。</p>
			2 徹底した行政改革の取り組みについて	<p>本市を取り巻く環境が常に変化している中、適切な財政運営を進めていくために、より計画的で健全な財政運営を図る取り組みが必要とされております。</p> <p>そこでお伺いします。</p> <p>(1) 税収入の確保について</p> <p>(2) 受益者負担の適正化など財源の確保について</p> <p>(3) 各種施策の優先順位について</p> <p>(4) 民間委託や民営化について</p>
			3 ボール遊びでの事故賠償について	<p>県外の小学校で放課後、校庭から飛び出たサッカーボールをオートバイの 80 歳代男性が避けようとして転倒し、その際のけがが原因で死亡した事故を巡り、遺族が訴えた民事訴訟でボールを飛ばした小学 5 年生の少年の過失を認め両親に約 1,500 万円の賠償を命じたと報道されました。</p> <p>今回の判決で大きな疑問として残るのは学校側の責任の有無であります。</p> <p>当市で発生した場合の責任についてお伺</p>

通告順	議席番号	質 問 者	質 問 事 項	質 問 要 旨
				いします。
			4 外路灯の電気代について	<p>LED外路灯は蛍光灯に比べると消費電力が半分以下で済みます。</p> <p>他県（前橋市）では防犯灯をLEDに付け替える自治会が増え、市当局も新年度から補助金を出すことになったそうです。</p> <p>当市でも外路灯をLEDに付け替えるお考えがあるかお伺いします。</p>
19	15	渡部 孝雄	1 福島第一原子力発電所事故への対応について	<p>(1) 当市の風評を含むこれまでの被害の実態把握経過とその結果は如何か。</p> <p>(2) 喜多方市としての放射線許容基準又は目標基準を定め、それを達成するための事業を実施するよう求め、見解を伺う。</p> <p>(3) 喜多方市の長期的復旧・復興計画を策定する必要があると考え、見解を伺う。</p>
			2 塩川駅西土地地区画整理事業について	<p>(1) 塩川駅西土地地区画整理事業は、換地処分が終わり清算金処理の段階となっている。本事業ではこれまで5件の不服申し立てがあり、内1件については処分の一部取消しの裁定が下され、なお1件については係争中である。これまでの事業経過をどのように評価し、その後の事務執行にどう反映したか。</p> <p>(2) 市は本年度から、地目が農地であっても現況にもとづき雑種地の課税を行った。</p> <p>ア 農地に復元するという当初の約束を考えたとき、雑種地課税は拙速ではないか、当面は遊休農地扱いではないか。</p> <p>イ 処分も進まず、使用価値も生まない土地について課税負担、草刈等維持管理負担を強いられている地権者に対して救済策を講ずる考えはないか。</p>
20	2	田中 雅人	1 「原発震災」に関連して	<p>(1) 今回の「原発震災」を受けて、福島県と県議会の各派は従来の原発推進の立場を大きく転換し「脱原発」へ舵をきった。</p> <p>ア 「原発ゼロ」に向けた市長の行動を期待しますが、見解を伺う。</p> <p>(2) 放射能問題で、市民や子どもたちへの健康被害を低減させる為に次の点を伺う。</p> <p>ア 指導基準はなにか。</p> <p>イ 具体的対策を伺う。</p> <p>(3) 原発事故による賠償問題について</p> <p>ア 全面補償を求める市長の決意について伺う。</p> <p>イ 直近の本市における各産業別の損害</p>

通告順	議席番号	質 問 者	質 問 事 項	質 問 要 旨
				額及び総額を伺う。 ウ 補償を求める市民のための受付窓口を市役所に設置すべきだが、伺う。 (4) 避難住民への支援について ア 市の支援体制を伺う。(住宅、雇用、健康、子ども教育等について)
			2 下水道汚泥処理問題について	(1) 塩川町での「センター汚泥」の説明会で市の反省点はなかったか。 (2) 市民の意向をどう受けとめたかを伺う。 (3) 汚泥の最終処理の考え方を伺う。
			3 塩川駅西土地区画整理事業の清算金について	(1) 清算金利子 6 % の根拠を伺う。 (2) 地権者の苦情への対応を伺う。
			4 「住宅リフォーム助成制度」(仮称)の創設について	市内地域の仕事おこし、地域経済活性化のために再度、提案するが見解を伺う。
2 1	2 1	渡 部 勇 一	1 政治姿勢について	(1) 脱原発をどのように考えるか。 (2) 地域性を生かした発電を模索すべきと思うがどうか。 (3) 雄国山麓の高低差を利用した水力発電が有効かと思うが、検討する考えはないか。
			2 道路行政について	(1) 1 級市道 1101 号線の豊川小学校・堂畑を通学路としている豊川小及び一中生徒の安全をどのように考え確保しているのか。 (2) 歩道設置の必要性があると思うがどうか。また、その計画があれば伺う。
2 2	2 2	齋 藤 仁 一	1 米の放射性物質測定について	(1) 県が 9 月上旬までに実施するとした予備調査の進捗状況はどうなっているのか。また、結果が出たのであればどのようなになったのか、伺いたい。 (2) この結果を受けて市としてどのように対応する考えか、伺いたい。 (3) 市も県の調査の補完として 300 ヶ所程度の調査を実施するとしているが、箇所付け等この計画の進捗状況はどのようなになっているのか。また、調査結果をいつ公表するのか、伺いたい。 (4) 稲わらの放射性物質の検査及び、その対応についてどうするのか、伺いたい。
			2 線量低減化事業について	(1) この事業への申込件数について伺いたい。 (2) この事業への取組みに対しては、市の放射線量のきめ細かな実態把握とマップ化

通告順	議席番号	質 問 者	質 問 事 項	質 問 要 旨
				<p>が必要と考えるが、市の対応について伺いたい。</p> <p>(3) この事業の具体的な作業の方法、放射線量の計測等について、手引書が必要と考えるが、市の対応について伺いたい。</p> <p>(4) この事業については、専門家を委嘱し、その専門家による相談窓口を設置する必要があると考えるが、市の対応について伺いたい。</p>
			3 線量計等緊急整備事業について	<p>(1) この事業への申込件数について伺いたい。</p> <p>(2) この事業についても、市の放射線量のマップ化によって、放射線量の高い所には、子どもを近づけない等の指導も含めた対応が必要であるが、市の対応について伺いたい。</p> <p>(3) この事業についてのきめ細かな手引書が必要と考えるが、市の対応について伺いたい。</p> <p>(4) この事業についても専門家を委嘱し、その専門家による相談窓口を設置する必要があると考えるが、市の対応について伺いたい。</p> <p>(5) この調査は外部被ばくについてであるが、今後内部被ばくの調査が必要と考えるが、市の具体的な対応について伺いたい。</p>
			4 財政計画と新市建設計画について	<p>(1) 喜多方市は、合併後 6 年目となるが、今年度までの新市建設計画の進捗状況はどのようになっているのか。また、合併特例債の起債状況についてもどのようになっているのか、伺いたい。</p> <p>(2) 平成 27 年度（合併後 10 年目）までの中期財政計画が示されたが、この計画内での新市建設計画の具体的な取組みと合併特例債の起債見通しはどのようになるのか、伺いたい。</p> <p>(3) 新市建設計画の中で、この 10 年間に取組めない事業は何か。その事業に対して、どのように市として対応する考えか、伺いたい。</p> <p>(4) 国は、合併特例債を 5 年間延長するとの考えを示し、喜多方市も該当しているが、このことによる財政見通しはどのようになるのか、伺いたい。</p>